

令和2年6月26日（金）

大槌の海を学ぶ「はま研究会」が発足！

今年度より大槌町の海を舞台に研究活動を行う「はま研究会」が発足し、約40名の生徒が加入しました。東京大学大気海洋研究所（以下：海洋研）の青山潤先生と大土直哉先生にご協力いただき、研究所でのお手伝いやフィールドワークなどを通して海や川の生き物たちの生態を調べます。夏には大槌湾にやってくるウミガメのお世話をしたり、大槌湾に生息する魚を釣って図鑑で確認するなど、今後も様々な活動も展開していく予定です。

＼「はま研究会」はこんな活動をしています／



海洋研の施設見学ツアーを行いました。最新の設備や珍しい生き物に生徒たちも興味津々です。



複数のサクラマスを解剖して、海に出るのはオスとメスどちらが多いのかを調べました。



大槌湾に生息する魚たちを飼育するために使用している大きな水槽を清掃しました。



アワビの貝殻に空いているマダコの捕食痕の位置を調べ、アワビがいつ・どのようにマダコに食べられているのかを観察しています。



海だけでなく河川にも注目し、大槌町に生息するイトヨの生態調査や環境観察をおこなっています。



はま研究会の活動にご協力いただいている先生方です。海洋研究のスペシャリストたちと一緒に研究活動ができるのも魅力のひとつです。